



仲間と共に

学校目標 「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」

令和4年5月24日



コロナ禍のミニ運動会 **本番だけでなく途中の姿を大切にしたい**

校長 小野木義浩

ゴールデンウィーク明けに、本校でも新型コロナウイルス感染者が増え、先週は複数の学級が「学級閉鎖」となりました。今の BA2 株は、家族が一人陽性になると家族全員が揃って陽性になるという感染力の強さと、朝は平熱で元気だったのに夕方には発熱→陽性というスピードが特徴のようです。

さて、「学年別ミニ運動会」を今月末(5月28日)に計画しています。これまでも、新型コロナ対策をしている子供たちですが、「人が多いところや近い距離での活動中のマスク着用」や「場面が変わる毎の消毒・手洗い、部屋の換気」などに引き続き気を付けていきます。熱中症対策として「水筒の持参」を始め、「塩タブレット」「冷感タオル」「日傘」など必要に応じてお子さんと相談して使ってください。学校では、ミストの設置、休憩時間や水分補給の時間を何回か取りながら、屋外での活動を進めています。ミニ運動会では、マスクを外して行う種目とマスクをして行う種目を子供たちに伝えて実施します。

今年度はミニ運動会参観者の人数制限はしていませんので、お互いに距離を取ったり、感染防止対策や熱中症対策をしたりしながら、気を付けて参観ください。当日は、近隣の住民や店舗にご迷惑がかからないように、自転車や徒歩などでお越し頂きますようお願いいたします。(道路や店舗駐車場には自動車を止めないでください)

行事の取組を通して、子供たちの頑張りを価値付け、自己肯定感に

児童会は「全力～仲間と共に 心に残る 最高の運動会を～」という目標を掲げ、三場面（練習の場面・仲間の応援の場面・自分が競技に参加している場面）で「全力でがんばる姿」を目指そうと話してくれました。子供たちは、「体を動かす楽しさ」を第一にミニ運動会に向けて練習をしたり、動きを覚えたりとがんばっています。中には、家でも、鏡の前でダンスの動きを練習している子がいるという話も聞きました。

ところで、「自分にはよいところがある」というような自己肯定感が高くない傾向にある子供たちです。ミニ運動会という行事の取組を通して自他のよさを自覚し、自信につなげていってほしいと願っています。子供たち同士、教職員から子供へは、学級での「よさ見つけ」で頑張りをよさを認めていきます。今回はぜひ、保護者の皆様（地域の皆様）にも、運動会を通しての子供たちの頑張りの様子を簡単なメッセージに書いて励ましていただけたらありがたいです。「家で練習を頑張っていたお子さんの姿」、「運動会当日のお子さんの頑張りの姿」、「仲間のために汗を流して動く姿」、「他の学級や学年のお子さんの素敵な姿」……。見つけていただいたよさは、子供たちにしっかりと伝えていきます。どうぞ、ご協力をお願いします。(詳しくは学校からの「よさみつけ」のプリントをご覧ください)

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が心配される中での「学年別ミニ運動会」の開催です。

残念ながら、陽性になったり、濃厚接触者となったりして自宅待機で運動会に参加できない子がいるかもしれません。体調が優れず、参加できない子がいるかもしれません。しかし、本番だけでなく練習時や家での取り組みなど、「ミニ運動会にむけての姿」も大切であると価値付け、まわりの仲間や大人がいろいろな場面で認めていくことが、休まざるを得ない子供たちにとってもがんばりの自覚につながると思います。

状況は常に変化していますので、柔軟な対応が必要です。コロナ禍でも工夫して「ミニ運動会」を行うために、いろいろな場面で皆様のご理解やご協力をお願いすることになると思います。お力をお貸しください。

(運動会前に学級閉鎖になった場合などの対応については、先日配付したプリントで確認をお願いします)